

学 校 名	中野区立江原小学校
コーディネーター数	1 人
ボランティア数	25 人

活動の概要

江原小学校での教育活動の中で「学校の中の小さなニーズ」を気軽に頼める「猫の手」のようなボランティアとして卒業生や在校生の保護者を中心に活動し、3年目を迎えた。

1. 学校行事の支援

- ・低学年保護者会時の児童見守り、学校公開日等行事開催時の受付や案内、学芸会や展覧会の製作サポート、相談室やエントランス他の装飾・展示等、学校の依頼に応じて活動する。

2. 図書室ボランティア

- ・図書館指導員が「子供たちに本の楽しさを伝える時間」を少しでも多く確保できるように、指導員の指示により図書室の整備や本のメンテナンス、読書記録・リスト作成、区立図書館から貸出本（学級文庫や調べ学習・クラブ活動の為）の管理作業等を定期的にサポートする。

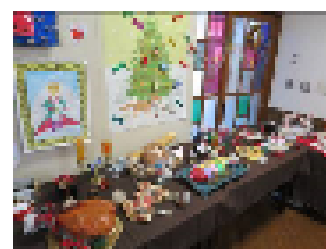
- ・子供の本への興味や本に触れる機会を増やす為、図書室他の掲示物や展示物を制作する。

季節や行事、おすすめ本等、指導員から出されるテーマを元に額や音読劇にも使用できる小物を身近な材料を用いて作るよう心がけているが、飾りをきっかけに教室や家庭で会話が生まれる効果もあり、相談室等の装飾も頼まれるようになった。

- ・区民活動センターでの地域連携事業「読んでつなげる心のバトン」（読書推進活動）の江原小の担当として図書ボランティアのノウハウを活かし、ブックリストの作成や展示等を行う。

コーディネーターの役割

- ・学校のニーズを把握し、ボランティアを手配する。
- ・学校が地域と円滑につながることができるようサポートする。
- ・学校・ボランティア共に有意義な活動となるよう調整・配慮する。
- ・保護者、卒業生の保護者、地域の方でボランティアの人材を探す。



活動上の工夫や配慮等

- ・学校が「手間はかかるけどやりたい！」と思うことや地域への働きかけが必要なこと、過去の事例等を気軽に相談できるように随時、声をかけるように心掛けている。

- ・学校の意図を理解した上で、ボランティアが自発的に考え行動できるように配慮している。

活動の成果や感想

子供の卒業後も「地域のおとな」としてそのまま活動を続けることで学校や保護者、子供達とのつながりが維持され、気軽に会話のできる顔見知りとして学校と地域を緩くつなぐ存在に育ってきたように感じる。学校をサポートする手が一つでも増え、子供たちの安心安全な学校生活を支えていけたらよいと考えている。

（校長先生から）